

復興について

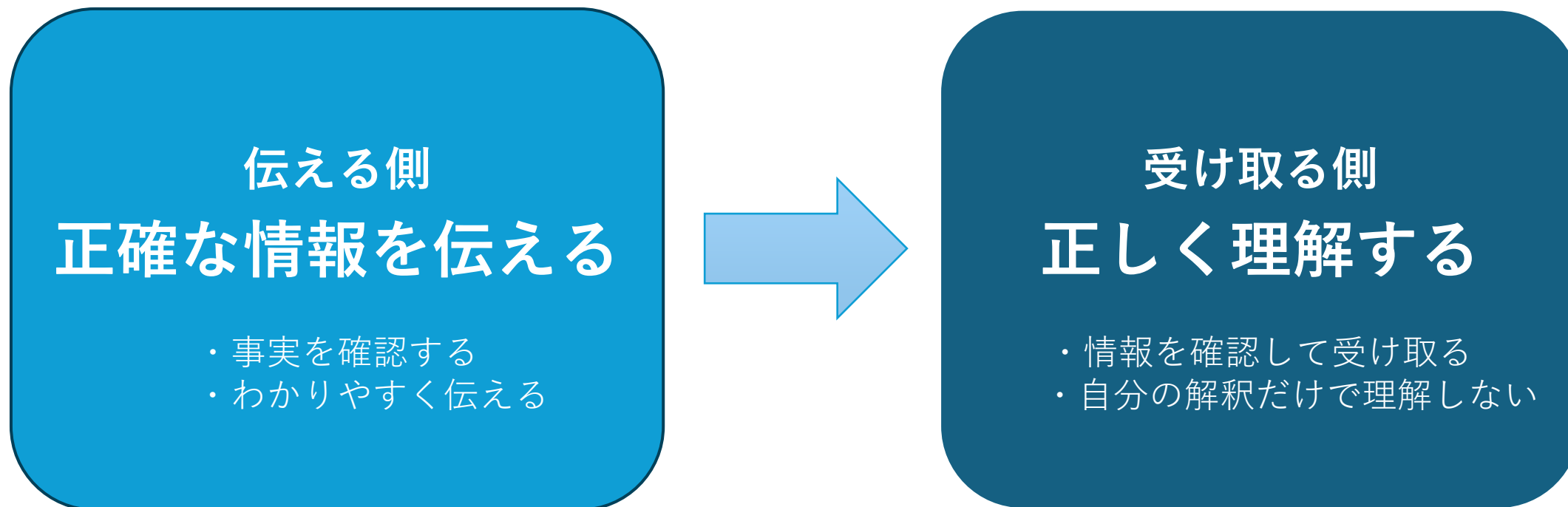
2026年 大熊C班

大熊C班測定結果



サンプル	放射能濃度
30cm土壌	87369.01 ± 977.52 Bq/kg
ウメモドキ(枯葉)	1857.78 ± 211.58 Bq/kg
ウメモドキ(葉)	505.63 ± 59.90 Bq/kg
ウメモドキ(実)	684.86 ± 58.18 Bq/kg

情報の伝達には、双方の役割がある



どちらか一方でも欠けると、解釈が変わり「誤った情報」として伝わる可能性がある

正確に伝える × 正しく理解する = 正しい情報伝達

捉え方の相違

復興と
は？



捉え方の相違



捉え方の相違

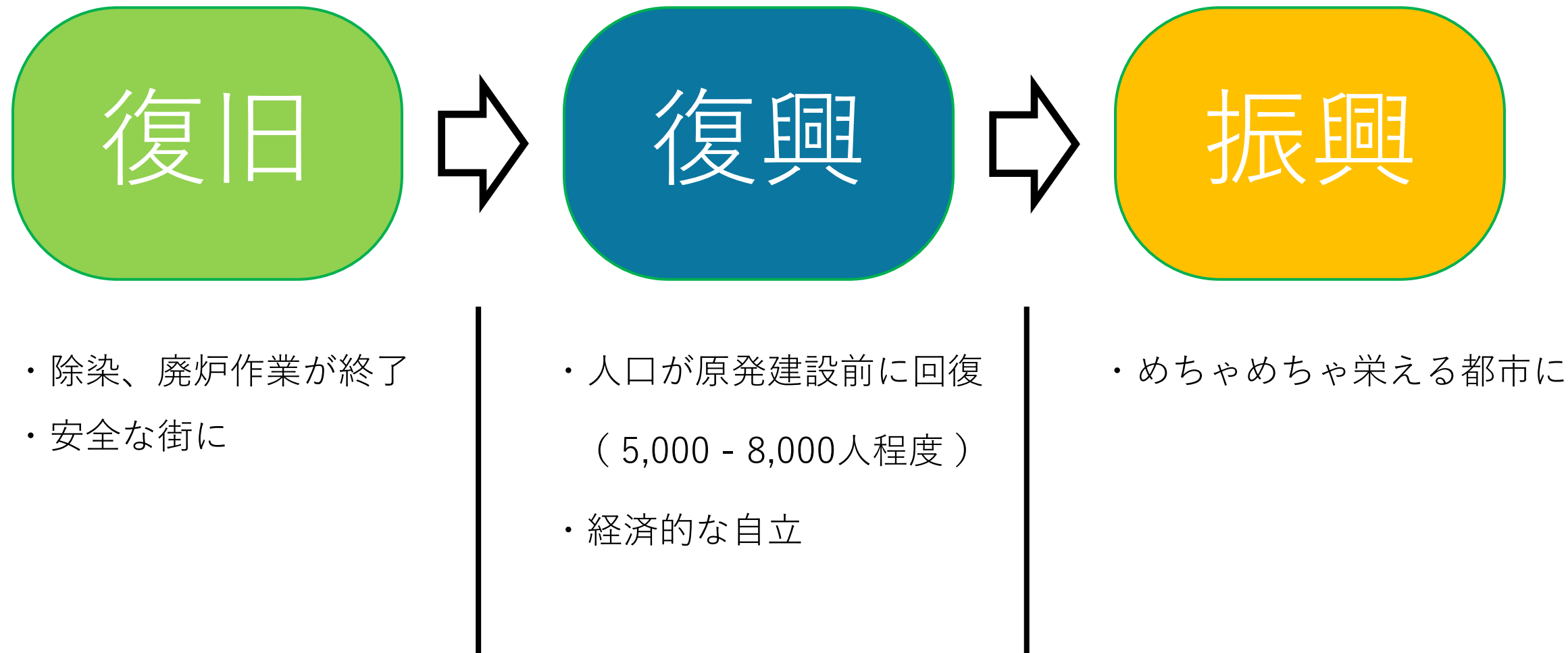


それぞれが考えるビジョンが違う！

C班が考える復興の定義

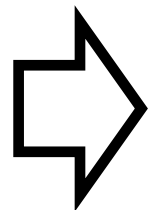


C班が考える復興の定義

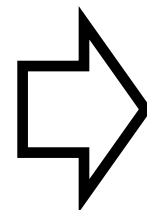


C班が考える復興の定義

復旧



復興



振興

- ・ 除染、廃炉作業が終了
- ・ 安全な街に



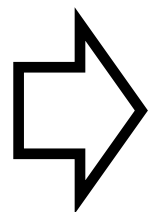
- ・ 人口が原発建設前に回復
(5,000 - 8,000人程度)
- ・ 経済的な自立

- ・ めちゃめちゃ栄える都市に

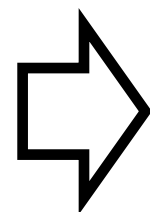


C班が考える復興の定義

復旧



復興



振興

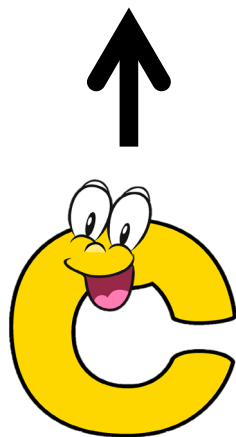
日本国の
負担



C班が考える復興の定義



日本国の
負担



C班のビジョン

除染作業が終わってからも

経済的に自立する大熊町

持続可能な大熊をつくる



三つの極端な案

01

消滅

町としての機能を終わらせる

02

移民

人口そのものを入れ替える

03

変革と人材招致

産業を作り替えて人を呼ぶ

それぞれのメリットとデメリット



01 消滅

MERIT

- ・ 土地、金、人の効率化

DEMERIT

- ・ 道德的問題と、
日本のイメージダウン

02 移民

MERIT

- ・ 経済の即時回復

DEMERIT

- ・ 道德的問題と、
日本じゃねえ

03 変革と人材招致

MERIT

- ・ 経済の回復（日本）

DEMERIT

- ・ 非効率

結論

唯一の正解はない



復興のかたちは、一つではない。

「誰のため、誰がやる復興か」－ 住民、行政、事業者、そして次の世代。立場ごとに、それぞれの復興がある。

大熊C班のまとめ

試料採取・測定 → 自然科学的知識

交流 → 正しい情報伝達が重要

中貯 → C班が考える復興のビジョン

町内散策 → 持続可能な大熊町へのヒント

対話 → 消滅・移民・変革





ご清聴ありがとうございました

